

# だっこだっこあみだっこ

土に親しもう！浄苑の菜園で  
野菜の種まきや収穫を体験☆

平成 28 年  
1・2  
月号

ぼく・わたしを育てる  
ほとけのことば

4コマまんが  
母 悲喜こもごも

ヤサイのハテナ

くらしの歳時記

東山浄苑発！ママと子どものフリーペーパー **だっこだっこあみだっこ** です♪

あみださまは、おかあさんの「だっこ」のように、あたたかくわたしたちを見護（みまも）ってくださいている—そのことに気づいたとき、わたしたちは安心して、自信をもって生きていけます。

未来をになう子どもたちは社会の宝もの。その子どもを育てるパパ、ママも宝ものとも言われます。子育てはとても尊い大事なことです。いい子になってほしい、と思いながらも、ほんとうのやさしさ、強さってなんだろう？悪いことをしたらどう叱ったらいいの？—ほとけさまの教えが、悩めるパパ、ママのともしびになりますように。ぜひ、ご家族みなさんでお読みください♪

FREE Paper

# ぼく・わたしを育てる ほとけのことは

今月のことは：「**成道**」(じょうどう) — **正しく見る目をもつ** —

仏教には、今のわたしたちにとっても、あたたかなともしびとなることはたくさんあります。  
「ほとけのことは」から、わたしたちの日々のくらしの目標をかんがえてみましょう♪

## 成道 (じょうどう) ってどういうこと？

成道とは「仏道を完成すること」という意味があります。

特に、お釈迦さまがさとりを開かれたことを「成道」と言います。

12月8日は、お釈迦さまがさとりを開かれて仏(ブツ)となられた日と伝えられています。苦勞して尊いみ教えを見つけて下さったお釈迦さまに、感謝をする日ということで、「成道会(じょうどうえ)」と呼んでいます。

では、お釈迦さまはどうやってその道を見つけたのでしょうか？

## 四門出遊 (しもんしゅつゆう) そして出家

シャカ国の王子シッダールタは、ある日、家来と一緒にお城の外に出かけました。

東の門から出た時、よぼよぼした老人に出会いました。南の門から出た時には、道端で倒れている病人に出会いました。

西の門から出た時には、死者(亡くなった人)を運ぶ葬儀の列に出会いました。

「老(年をとること)」「病(病気になること)」「死(死ぬこと)」—王子は、今は若く元気な自分も、いつかは年を取り、病気になって、死ぬのだ、という人生の問題、私たちが避けることのできない「死」について考え、悩み始めます。

最後に、北の門から出た時、出家(しゅっけ)した修行者に出会い、ものにとらわれず真理を求めるそのきよらかな姿に、王子は感銘を受けました。

王子は、「どうすれば人はみな苦しみから逃れられるのか?」、その答えを見つけるために、29歳の時、父や妻子が寝静まる中、そっと城を出て、出家されました。

出家したシッダールタは、まず二人の求道者(ぐどうしゃ)のもとで修行します。その後、より厳しい修行を求めて、さまざまな難行苦行(なんぎょうくぎょう)をなさったシッダールタは、やせほそって骨と皮ばかりの姿になりました。

この時、体を痛めつけることでは、さとりを得ることはできない—そう見通したシッダールタは、村の娘スジャータ(※)の差し出す乳がゆをすすり、何とか命をつなぎとめました。(※)コーヒーフレッシュなどで知られる会社「スジャータ」はこの村の娘の名前が由来。

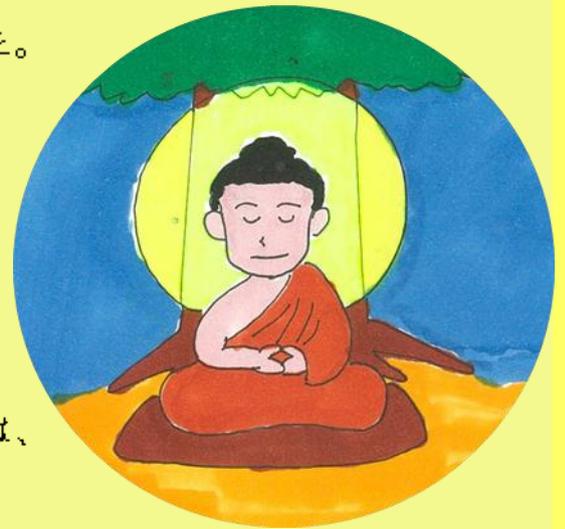


## 菩提樹（ぼだいじゅ）の下で

そこで、シッダールタは、自分の心を静かに見つめることにし、菩提樹の下で座禅を組み、目をつむって思いをはせました。その間、悪魔が色々な邪魔をしますが、どんな誘惑にも負けずに座り続け、ついにさとりを開かれ、「ブッダ（さとりを得た人）」となりました。

12月8日の明け方のことで、これを「成道」（仏の道が完成したこと）といいます。

しかし、そのさとりはあまりにも深く、そのまま人々に話して聞かせても誰も理解できません。「自分ひとりがわかっていればいいじゃないか」そのように考えたシッダールタのもとに、梵天（ぼんてん）さまがやってきて、「どうか人々にその教えを説いておくれ」と頼まれ、シッダールタは、人々に教えを伝える道を歩き始めて下さったのです。



## 「正しく見る目をもつ」とは？

私たちは、お釈迦さま（シッダールタ）がおさとりを得られた（成道）ことをありがたく思うとともに、私たち自身も、そのさとりへの道を歩くべく努力していかなければなりません。さとりへの道を、お釈迦さまは最初の説法（初転法輪／しょてんぼうりん）の中で「八正道（はっしょうどう）」と示されました。1.正しく見ること、2.正しく考えること、3.正しい言葉を話し、4.正しい行いをし、5.正しい生活を送り、6.正しく努力し、7.正しく仏さまのことを念じ、8.正しく心を安定させること。この8つの道を大切にしなければならぬよ、とお示し下さったのです。

今月の目標の「正しく見る目を持つ」とは、この八正道の一番はじめ、「正しく見る（正見／しょうけん）」のことです。くもりのない目で、ものごとをありのままに正しく見る事ができれば、間違ったものや欲望にまどわされずに、正しく生きることが出来ます。

私たちには、おもちゃが欲しい、お菓子が食べたい、お友達がうらやましい…など、欲望や弱い心があって、これをなくすことは、残念ながらできません。けれども、「正しく見る」目を持つために、毎日のくらしの中で、お寺でお坊さんのお話を聞いたり、親子仏法の集いや幼稚園・学校で勉強したり、本を読んだり、お父さんやお母さん、近所の人々から色々な事を学ぶことができます。いろんな事をよく見て、よく考えて、私たちも、お釈迦さまのさとりへ1歩でも近づけるようになりましょう。



# 親子仏法の集い-仏法に親しもう 土に親しもう!-つてなあに？

毎月第3日曜日に、東本願寺東山浄苑の菜園で行っている親子向けの活動。  
なんでもありがたくいただいて、粗末にしない-古きよき日本人を育てた仏教の教えです。  
家族で野菜づくりや年中行事に親しみ、「いただきます」「ありがたい」の豊かなこころを育てましょう。  
乳幼児から中学生までのお子さんご家族はどなたでも参加できます。  
初参加歓迎！（初回参加は無料です♪）お気軽にお尋ねくださいね。



【活動日】毎月第3日曜日 【場所】東本願寺東山浄苑 【参加費】1家族1回 1,000円 **初回参加無料！**  
※ベビールーム完備 ※屋内無料駐車場有り ※参加ご家族30組限定 ※3月活動は第2日曜日に実施

★お問合せ・参加のお申込みは★

**東本願寺東山浄苑 総合受付** 電話 **075-541-8391** 毎日 9:00 ~ 17:00

—参加者募集中！今後の親子仏法の集いご案内—

**\*2月・3月活動\***

**花まつりの練習**

○日 時：平成28年2月21日（日）／3月13日（日） 10時～12時

○場 所：東本願寺東山浄苑内 ○参加費：1家族 1,000円

**※初回参加は無料♪**

※※今年の花まつり（お釈迦さまのお誕生日をお祝いする行事。詳しくは同封のチラシをご覧ください）は、平成28年4月29日（金・祝）に行います♪親子仏法の集いでは、今年は僧侶（お坊さん）と一緒に法要をおつとめします！お経をよんだり、散華（さんげ／花びらをまく）したり、磬（きん／おりん）を叩いたりして、一緒に法要をおつとめしましょう。ご僧侶がやさしくていねいに教えてくれます。他ではできない体験を、ぜひ一緒に！

※※参加ご希望の方は、事前にお電話（上記）でお申込み下さい。